

活動報告

令和2年 厚生連薬剤師会学術活動報告

小千谷総合病院 薬剤部；薬剤師

とやま よしとよ
外山 芳豊

新潟県厚生連薬剤師会は令和2年12月現在132名が在籍しています。

本年度は新型コロナの影響で当会が定期的に開催していた研修会等が軒並み中止や Web 開催となりました。全国規模で行われていた学会等も同様です。

それに加え全国的に病院薬剤師の不足傾向は変わらず、当会においても大幅な人員不足は深刻な問題となってきました。

今、病院薬剤師は高度医療機器の導入等により業務の改善を行い、医師、他職種、保険薬局と連携・協働し更なる安全で安心な薬物療法の提供をする義務があります。そのためには専門薬剤師、認定薬剤師の資格が必須となっています。多くの人材が、自己研鑽し資格を取得する事が必要です。今若い人材の育成をしないと将来の病院薬剤師という立ち位置が危ぶまれるのではと考えます。

令和2年度の発表、研修会、論文投稿など学術活動は以下のとおりです。

(1) 第68回日本化学療法学会総会 オンライン発表

時 令和2年9月14日(月)

所 Web 開催

演題名 「第3世代セファロスポリンおよびペニシリン系抗菌薬の外來処方量が腸菌の薬剤耐性に及ぼす影響」
あがの市民病院 細川 浩輝

(2) 第63回日本糖尿病学会2020 ポスター発表

時 令和2年10月5日(月)～16日(金)

所 Web 開催

演題名 「DPP-4阻害薬を服用中に水疱性類天疱瘡を発症した症例についての検討」
長岡中央総合病院 薬剤部 石塚ほから

(3) 第69回日本農村医学会学術総会

時 令和2年10月15日(木)～11月14日(土)

所 Web 開催

演題名 「入院時初回面談開始に伴う薬剤部の業務見直しと薬剤管理指導件数の推移」
佐渡総合病院 姉崎 一輝

(4) 第30回日本医療薬学会年会

時 令和2年10月24日(土)～11月1日(日)

所 Web 開催

演題名 「休薬期間のある経口フッ化ピリミジン系抗がん剤の投与適正化への取り組み」
上越総合病院 村上 幸恵

(5) 第65回日本透析医学会 ポスター発表

時 令和2年11月2日(月)～24日(火)

所 Web 開催

演題名 「血液透析患者に対してデノスマブを4年間投与した効果についての検討」
長岡中央総合病院 薬剤部 石塚 ほから

(6) 令和2年度厚生連薬剤師会秋季研修会

時 令和2年11月14日(土)

所 新潟東映ホテル、パストラル長岡、上越教育プラザ、佐渡総合病院での Web 開催
○会員発表

1. 「LSTの取り組みについて」

村上総合病院 田上 真理

2. 「当院における新型コロナウイルス感染症に対する対応の紹介」
豊栄病院 山賀 洋和
3. 「せん妄・認知症サポートチームにおける活動報告」
新潟医療センター 大場 陽子
4. 「薬と副作用に関するアンケート調査～いま患者はなにを求めているか～」
あがの市民病院 永井 満
5. 「病棟薬剤業務を始めてみて」
長岡中央総合病院 堀 裕一郎
6. 「本部での価格交渉内幕と将来」
新潟県厚生連本部総務部 山本 剛
7. 「院内疑義紹介プロトコル作成に向けての調査」
上越総合病院 江口 裕子
8. 「副薬剤長主任会議報告」
新潟医療センター 加藤 英樹

○特別講演

『心不全診療新時代における当科の挑戦』

新潟大学大学院医歯学総合研究科 循環器内科学 准教授 尾崎 和幸 先生